

平成 29 年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター
指定管理者管理運営状況調書

担当課 高齢者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用を確保するものであること	利用者の平等利用の確保	B	B	
施設の効用(設置目的)が最大限発揮されるものであること	サービスの改善、向上(質の確保)のための方策	B	B	
	生活指導や適切な日常動作訓練等のための方策	B	B	
	養護の具体的な方策	B	B	
	介護に対する家族との協力等についての具体的な方策	B	B	
健康管理が適切であること	適切な健康管理のための方策	B	B	
衛生管理が適切であること	適切な衛生管理のための方策	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	個人情報保護のための方策	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	適切な苦情解決のための仕組み	B	B	
	施設の安全管理のための方策	B	B	
	防災・防犯のための方策	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	現金の取り扱い等の経理処理が適切に行われるための方策	B	B	
管理経費の縮減が図られていること	管理費縮減のための方策	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	職員配置について	B	B	
	職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	人材育成について	B	B	

総合所見

当該施設は、平成26年度から完全利用料金制による運営を行っている。29年12月末現在の登録者は65人、延利用者数は4,737人で昨年度の同時期と比べて登録者で2人、延べ利用者数で709人上回る結果となり、介護保険収入も4,210千円の増額となっている。

平成28年2月から8月頃まで利用者が増えなかったが、その後、利用者の伸びが出てきたことで、今年度は利用者も増え、27年度の利用実績を上回る見込みとなっている。

業務内容に関しては、入浴サービスでは安全とプライバシーを重んじていること、選択レクの実施で週に複数回利用する方への配慮がなされていること、手洗い、うがいを徹底し感染症予防に努めていること、健康チェックについては連絡帳により利用者の家族と共有できていること、送迎時には、介護職員を同乗させるなど安全面にも配慮した適切な対応を図っていることなどから、仕様書に基づいた運営を行っていることが確認できる。

以上のことから、指定管理者として問題がないものと判断する。